

みずほCustomer Desk Report 2023/08/17号(As of 2023/08/16)

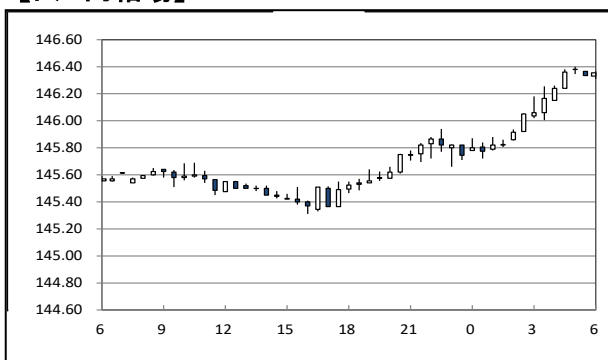
金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	145.72
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	145.62	1.0904	158.78	1.2697	0.6458
SYD-NY High	146.40	1.0934	159.24	1.2767	0.6481
SYD-NY Low	145.31	1.0872	158.65	1.2689	0.6416
NY 5:00 PM	146.36	1.0878	159.17	1.2733	0.6425
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,765.74	▲ 180.65	日本2年債	0.0200%	0.0000%
NASDAQ	13,474.63	▲ 156.42	日本10年債	0.6200%	0.0000%
S&P	4,404.33	▲ 33.53	米国2年債	4.9663%	0.0098%
日経平均	31,766.82	▲ 472.07	米国5年債	4.4047%	0.0286%
TOPIX	2,260.84	▲ 29.47	米国10年債	4.2573%	0.0394%
シカゴ日経先物	31,705.00	▲ 245.00	独10年債	2.6435%	▲0.0325%
ロンドンFT	7,356.88	▲ 32.76	英10年債	4.6405%	0.0525%
DAX	15,789.45	22.17	豪10年債	4.2310%	▲0.0260%
ハンセン指数	18,329.30	▲ 251.81	USDJPY 1M Vol	9.41%	0.03%
上海総合	3,150.13	▲ 26.05	USDJPY 3M Vol	9.95%	0.14%
NY金	1,928.30	▲ 6.90	USDJPY 6M Vol	9.69%	0.13%
WTI	79.38	▲ 1.61	USDJPY 1M 25RR	▲0.54%	Yen Call Over
CRB指数	273.46	▲ 0.84	EURJPY 3M Vol	10.00%	0.20%
ドルインデックス	103.43	0.22	EURJPY 6M Vol	9.90%	0.11%

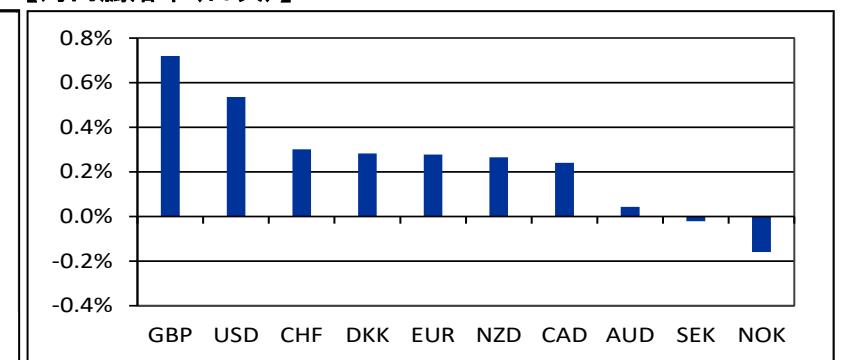
東京	145.62レベルで東京時間オープン。仲値にかけては堅調に推移し、東京時間高値となる145.69をつける。ただ、日本株の軟調推移が円高材料に。加えて、人民元が安値圏で推移しており、アジア通貨全般が軟調の中、大きな動きとはならずじわじわと下げる展開。145.38の安値を付けた後、145.40レベルで欧州へ渡った。東京時間中の値幅は31銭と落ち着いた一日だった。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、145.40レベルでオープン。クロス円の上昇を背景に一本調子で145.78円まで上昇し、結局145.76レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2730レベルでオープン。英7月CPIが前年同月比で予想を上回り、1.2767まで買われる。その後、全体的なドル高を背景に下落し、結局1.2741レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	中国景気に対する懸念から、海外市場のドル円は一旦ドル買いが優勢となったが、その後はドルが売られる一方、円も売られる展開にドル円は下値をサポートされ145.76レベルでNYオープン。朝方は米7月鉱工業生産が予想とほぼ一致したことから、ドル円の反応は限定的となるが、続いて発表された7月鉱工業生産が予想を上回り、145.94まで上昇する。しかしこのレベルでは介入警戒もあり利益確定の売りに145.66まで反落する。しかしアトランタ連銀発表のGDPNowで今年第3四半期のGDP見通しが5.8%まで引き上げられたこともあり、米長期金利が上昇する中ドル円は146.18まで上昇する。その後もFOMC議事録は予想範囲内で、今年マイルドリセッション入りすることを想定していないとの見方が明らかになったことからその後も米長期金利が10/24以来のレベルまで上昇する中、146.40まで上伸する。終盤に掛けては閑散な推移が続き、146.36レベルでクロスした。一方、ユーロドルはリスク回避の動きが後退し1.0934まで戻し、1.0913レベルでNYオープン。朝方は、米鉱工業生産結果を受けたドル買いに1.0896まで反落する。その後一旦1.0923まで戻す局面もあったが、午後は米金利が上昇する中ユーロドルは上値を切り下げ、1.0872まで下落し、1.0878レベルでクロスした。

【昨日の指標等】						
Date	Time		Event		結果	予想
8月16日	15:00	英	CPI(前月比/前年比)	7月	-0.4%/6.8%	-0.5%/6.7%
	15:00	英	CPIコア(前年比)	7月	6.9%	6.8%
	18:00	欧	GDP(前期比/前年比)・速報	2Q	0.3%/0.6%	0.3%/0.6%
	18:00	欧	鉱工業生産(季調済/前月比)	6月	0.5%	0.0%
	21:30	米	住宅着工件数	7月	1452k	1450k
	21:30	米	建設許可件数	7月	1442k	1463k
	21:30	米	住宅着工件数(前月比)	7月	3.9%	1.1%
	21:30	米	住宅建設許可(前月比)	7月	0.1%	1.5%
	22:15	米	鉱工業生産(前月比)	7月	1.0%	0.3%
8月17日	3:00	米	FOMC議事要旨(7/25-26分)	「インフレリスクを注視し、追加引き締めを検討」		
【本日の予定】						
Date	Time		Event		予想	前回
8月17日	08:50	日	貿易収支	7月	¥47.9b	¥43.1b
	10:30	豪	雇用者数変化	7月	15.0k	32.6k
	10:30	豪	失業率	7月	3.6%	3.5%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	12-Aug	240k	248k
	21:30	米	フィデリティ連銀景況	8月	-10.2	-13.5

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	145.50-147.50	1.0800-1.0950	157.00-161.00

【マーケット・インプレッション】

昨日公表されたFOMC議事要旨では「インフレに著しい上振れリスクがあり、金融政策の追加引き締めが必要になり得るとの認識を大半の参加者は引き続き示した」と、引き続きFRBのインフレ抑制姿勢が確認される内容となった。好調な米国経済指標もあり、ドル/円は一時146円半ば付近まで上昇。ドル/円が年初来高値を更新する中、本邦当局者の発言に注目が集まる。為替の急変に対する警戒感を強める発言が見られれば、為替介入への警戒感も出て上値を押さえようが、口先介入のレベルが直近の発言と大きく変わらなければ、146.50や147.00といった節目を試しに行く動きが出てくる可能性もあり警戒したい。本日海外時間には、米新規失業保険申請件数、8月フィデリティ連銀製造業景気指数の公表を控える。足許でリスクセンチメントの悪化が見られるが、経済指標が堅調な内容となれば、リスクセンチメントの改善とともに対円でドルをサポートしよう。本日のドル円は145.50-147.50のレンジを予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松永・南野